

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	衛生管理	学年	1年
担当教員	上田 俊明	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生の様々な知識を身につける。そして、環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学習する。 不特定多数の人が利用する施設における衛生上の危害を防止する為、感染症の知識を学ぶ。 感染を防止するための消毒法を学ぶ。
授業目標	消毒の必要性とその原理を覚える 理容・美容の業務と消毒との関係 消毒法とその種類を覚える 消毒に必要な条件と取り扱い 各消毒法の長所と短所を覚える 消毒薬と希釈液の濃度計算の仕方
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習内容			
1	病原微生物と非病原微生物①	16	紫外線消毒 長所と短所
2	病原微生物と非病原微生物②	17	煮沸消毒・蒸気（大気圧下の蒸気）消毒・その他の理学的消毒法
3	消毒の原理 消毒の目的	18	アルコール類による消毒
4	理容・美容で特に注意しなければならない病原体	19	次亜塩素酸ナトリウム（塩素剤）による消毒 界面活性剤（逆性石けん、両性界面活性剤）による消毒
5	消毒の原理 消毒の目的	20	グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒 その他の消毒薬
6	汚染・感染・発病と消毒の意義	21	すぐれた消毒法の条件 消毒をおこなう際の注意事項
7	理容・美容の業務と消毒との関係	22	消毒薬の概要 器具の使い方
8	消毒を怠った場合の危険と理容師・美容師の責任	23	常備しておくよい消毒液と希釈液の濃度
9	消毒法の種類	24	消毒薬希釈法 %と倍数とppmの関係
10	理学的消毒法の条件	25	消毒薬希釈法 計算の復習
11	化学的消毒法の条件	26	理容所、美容所の清潔法の実際
12	病原微生物の抵抗力	27	消毒薬希釈法
13	消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意	28	被消毒物件と消毒方法の関係 美容所での注意事項
14	小テスト	29	小テスト
15	前期範囲まとめ	30	後期範囲まとめ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	衛生管理 (感染症)	学年	1年
担当教員	石井 秀美	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	美容師にとって欠かすことのできない公衆衛生の様々な知識を身につける。 そして、環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を知り、社会の一員として適切に行動できるよう学習する。 不特定多数の人が利用する施設における衛生上の危害を防止する為、感染症の知識を学ぶ。 感染を防止するための消毒法を学ぶ。
授業目標	感染症の知識 感染症の種類と分類 病原微生物の知識 感染症発生と予防 理容・美容と感染症
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	感染症発見の歴史	16	前期末試験の解説
2	人と感染症	17	美容師の健康管理 感染症の基礎知識の重要性
3	感染症法による感染症の分類を理解する	18	空気・飛沫を介して感染する感染症 結核、ジフテリアの症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
4	病原体侵入門戸別及び病原体別の感染症分類を学ぶ	19	鳥インフルエンザ・インフルエンザ・新型インフルエンザの症状 病原体・感染源・感染経路・予防対策
5	微生物の種類 微生物の形と大きさ 微生物の構造	20	麻しん、百日せき、風しんの症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
6	微生物の増殖と環境の影響	21	飲食物を介して感染する感染症・急性灰白髄炎（ポリオ） コレラの症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策 細菌性赤痢の症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
7	微生物の病原性と人体の感受性	22	腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎の症状・病原体・感染源・感染経路 予防対策
8	汚染・感染及び発病 常在細菌叢	23	B、C型肝炎の症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
9	免疫と予防接種 免疫、抗原、抗体とは何か	24	後天性免疫不全症候群の症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
10	免疫と予防接種 予防接種の目的とワクチンの種類	25	梅毒の症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
11	感染症発生の要因 感染源、感染経路	26	ラッサ熱、ペストの症状・病原体・感染源・感染経路・予防対策
12	感染症発生の要因 感染源、感染経路を理解する	27	標準予防策・咳のある客への対応 病変の皮膚をもつ客への対応・嘔吐した客への対応
13	感染症予防の3原則 感染源、感染経路に対する対策	28	後期末試験対策
14	前期末試験対策	29	後期末試験対策
15	前期末試験対策	30	後期末試験の解説

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	保健 (皮膚)	学年	1年
担当教員	大須賀 範子	学科	美容科	時間数	45コマ

授業内容	人体組織の名前や構造、機能、特に皮膚及び毛髪などの構造と機能を学ぶ。
授業目標	皮膚の構造とその役割を理解する 皮膚の保護とお手入れ、毛についての理解を深め、美容師としての知識を深める 皮膚疾患のそれぞれの特徴と処置を覚える
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	皮膚の表面・皮膚の断面	24	爪の保護と手入れ
2	皮膚の断面・表皮	25	子供のおしゃれによる皮膚トラブル
3	皮膚の断面・真皮	26	皮膚の異常とその種類
4	皮下組織・皮膚の部位差	27	皮膚疾患の原因・皮膚疾患の治療法
5	毛・脂腺（皮脂腺）	28	皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹
6	脂腺（皮脂腺）	29	口唇の疾患・温熱、寒冷による皮膚障害
7	汗腺・爪	30	角化異常による皮膚疾患・色素異常による皮膚疾患・血管腫
8	汗腺・爪	31	脂腺母斑・下肢静脈瘤
9	皮膚の血管・皮膚のリンパ管	32	分泌異常による皮膚疾患
10	皮膚の血管・皮膚のリンパ管	33	化膿菌による皮膚疾患
11	対外保護作用・体温調節作用	34	ウイルスによる皮膚疾患
12	知覚作用と皮膚反射・分泌排泄作用	35	真菌による皮膚疾患
13	呼吸作用・吸収作用・貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用・再生作用	36	衛生害虫による皮膚疾患・感染症の皮膚疾患の予防
14	毛のはたらき・爪のはたらき	37	毛と爪の疾患
15	皮膚と全身状態・皮膚と精神 皮膚と栄養・皮膚と嗜好品	38	皮膚の腫瘍
16	皮膚と体内病変	39	復習
17	皮膚の水分と脂の状態	40	復習
18	皮膚、付属器官とホルモン	41	復習
19	復習	42	復習
20	復習	43	復習
21	テストと解説	44	復習
22	毛の保護と手入れ	45	テストと解説
23	毛の保護と手入れ		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	化粧品化学	学年	1年
担当教員	黒澤 正樹	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や化粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させる。特に、基本原理についての理解とその応用能力が、美容師にとって極めて重要な意義を持つものであることを理解させ化粧品の合理的な取り扱い方法に習熟させる。あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品用原料（水性原料と油性原料）と色材、香料を覚える ・基礎化粧品（石けん、化粧水、クリーム、乳液など）を覚える
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法及び講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	化粧品の社会的意義・化粧品の品質と必要条件	16	界面活性剤の化粧品への応用・高分子化合物の種類と特性
2	化粧品の定義	17	高分子化合物の化粧品への応用・色材と化粧品
3	化粧品の製造販売の規・化粧品の品質等の規制	18	無機顔料
4	化粧品の表示・広告の規制	19	有機合成色素（タール色素）・光輝性顔料（パール顔料）・天然色素
5	化粧品の安定性・化粧品の経時変化・化粧品の使用上・取扱い上の注意	20	香料と化粧品・香料の種類・調合香料
6	化粧品と安全性・表示成分と安全性・化粧品によるトラブル	21	化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分・化粧品配合成分がもたらす機能
7	化粧品の種類と機能・皮膚と水	22	合成樹脂・接着剤・塗料
8	頭皮や毛髪の健康な状態・爪の性状	23	皮膚の汚れと清浄作用・石鹸の種類とその性質・その他の清浄剤
9	まぶたや口唇の性状・化粧品のなりたち	24	化粧水の種類と機能性
10	水・エタノール	25	クリーム・乳液の皮膚への作用・クリームの種類と機能
11	油脂・ロウ類	26	シェービング用化粧品（理容）・化粧水（美容液、美容エッセンス） 打粉（ベビーパウダー）・バック剤
12	炭化水素・その他の油性原料・油性原料の機能	27	まとめ
13	界面活性剤の基本的性質	28	まとめ
14	まとめ	29	まとめ
15	界面活性剤の種類	30	まとめ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	文化論 (文化史)	学年	1年
担当教員	榎淵 真実	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	ライフスタイルが多様化した現代において、価値観や美意識も多様化してきている。今までの歴史を振り返り、時代背景と生活スタイルや流行のデザイン等がどのように関わってきたかを学ぶことで今求められている「美しさ」の意味を知る。
授業目標	歴史から美容業を探る 年代別による髪型、化粧の移り変わりを知る
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	総論	16	試験の解説
2	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業	17	近代（明治・大正・昭和20年まで）
3	近代の理容業・美容業	18	近代（明治・大正・昭和20年まで）
4	現代の理容業・美容業	19	近代（明治・大正・昭和20年まで）
5	日本の理容業・美容業の歴史年表	20	現代Ⅰ（1945年～1950年代）
6	縄文・弥生・古墳時代	21	現代Ⅰ（1945年～1950年代）
7	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	22	現代Ⅰ（1960年～1970年代）
8	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）	23	現代Ⅰ（1960年～1970年代）
9	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）	24	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）
10	近世Ⅱ（江戸時代）	25	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）
11	近世Ⅱ（江戸時代）	26	現代Ⅳ（2000年代以降）
12	近世Ⅱ（江戸時代）	27	復習
13	近世Ⅱ（江戸時代）	28	復習
14	復習	29	【達成目標】試験範囲の
15	復習	30	試験の解説

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容技術理論	学年	1年
担当教員	八木 美紀・高山 知代美・井上 仁子・池野 知子・磯部 文二	学科	美容科	時間数	90コマ
授業内容	技術にはその裏付けとなる理論が必要である。理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。				
授業目標	美容師資格を取得するため基礎から学び理解する				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法及び講師紹介	講義 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容					
1	授業の流れ、アンダーラインの引き方・ノートの使い方 理論・技術について	46	ヘアケアマイスター		
2	安定した姿勢・作業点と姿勢・力の配分	47	歴史・理論・パーマ剤の種類		
3	人体各部名称・顔部区分・ヘアライン・基準ポイント	48	ヘアケアマイスター		
4	用具の重要性・取り強い方・コームの名称・選定法・手入れ法	49	ヘアケアマイスター		
5	ブラシの種類・選定法・手入れ法・道具名称	50	ヘアケアマイスター		
6	レザー・ピン・ロッド・ローラー	51	ヘアケアマイスター		
7	ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線機	52	パーマ剤の種類・注意事項		
8	まとめ	53	ヘアケアマイスター		
9	まとめ	54	ヘアケアマイスター		
10	シャンプーの目的・メカニズム・シャンプー剤の種類	55	ヘアケアマイスターブライマリー検定		
11	シャンプーイング注意、ブラッシング・サイド/バックシャンプー	56	毛髪吸収度合い・シャンプー剤・選定・ブロッキング		
12	リンス/コンディショナー/トリートメントの違い	57	プレ処理・ウイディング・1剤塗布 放置タイム・テストカール・2剤（臭素酸・過酸化水素）		
13	リンス/コンディショナー/トリートメントの成分・種類について	58	アフターリンス・ウイディング/パリエーション・縮毛矯正		
14	スカルプトリートメント目的・要素・種類・育毛剤成分はたらき	59	まとめ		
15	スカルプマッサージ技術の目的・手順・基本手技・ヘッドスパ	60	まとめ		
16	まとめ	61	ヘアセッティング・ヘアパーキング・シェービング・カールの各部の名称		
17	まとめ	62	ストランドカール・シェービングカール フラットカール・スタンドアップカール		
18	美容とデザイン	63	フォワード・リバース・Cカール・CCカール		
19	デザインの要素	64	ベースの種類・ステムの方向と角度・テンション		
20	頭・デザインの想像	65	ループの大きさ・カールセニング		
21	方向・比較	66	ヘアウェービング・カールウェーブ		
22	シムトリー・バランス・調和と対比・リズム	67	スキップウェーブ・ターンシステム・オールウェーブ構成・ローラーウェーブ		
23	まとめ	68	ローラーカーリング・プロトドライ		
24	まとめ	69	アイロンセッティング・バックコミング・ウィッグとヘアピース		
25	ヘアカッティング・シザーズとレザーの扱い方・美容万全・正しい姿勢	70	まとめ		
26	ブロッキング・ヘアカッティングの基礎理論・パネルの角度	71	まとめ		
27	ヘアケアマイスター	72	ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類・ヘアカラーのタイプ別特徴		
28	ヘアケアマイスター	73	ヘアカラーのタイプ別特徴・染毛のメカニズム・色の基本		
29	ベーシックなカット技法	74	毛髪のレベルとアンダーカット・パッチテスト		
30	シザーズによるカット技法	75	染毛剤使用時の注意事項・ヘアカラーリングの道具・脱色染毛剤の技術手順		
31	ヘアケアマイスター	76	脱色染毛剤の技術手順・ヘアブリーチ		
32	ヘアケアマイスター	77	まとめ		
33	ヘアケアマイスター	78	まとめ		
34	ヘアケアマイスター	79	復習		
35	レザーによるカット技法	80	復習		
36	まとめ	81	復習		
37	まとめ	82	復習		
38	復習	83	復習		
39	復習	84	復習		
40	復習	85	復習		
41	復習	86	復習		
42	復習	87	復習		
43	試験問題解説	88	復習		
44	ヘアケアマイスター	89	復習		
45	ヘアケアマイスター	90	試験問題解説		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容実習 (オールウェーブモディング)	学年	1年
担当教員	八木 美紀・島山 知代美・井上 仁子・海野 知子・磯部 丈二	学科	美容科	時間数	229コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	コームの持ち方・動き・手の動き・ローション塗布・6線7段構成	25	繋がり理解
2	半円（ハーフウェーブ）	26	リフトカール（5段目）作り方 メイボールカール・クロキノールカール
3	リッジ	27	クロキノールカール・収まり確認・ピンニング・大きさ
4	フルウェーブ・フェイスライン	28	3段目～7段目・繋がり・仕上がりの確認
5	構成理解・ウェーブ幅、立ち位置確認	29	構成理解・大きさ・形・ピンニング
6	構成理解・ウェーブ幅、立ち位置確認	30	全頭
7	カールの大きさ、収まり理解	31	全頭
8	構成理解・2～3段目繋がりのウェーブ幅	32	ウェーブとピンカールの繋がりを、収まり・ピンニング確認
9	構成理解・くり抜き幅・耳上処理	33	ピンカール
10	スカルプチュアとウェーブの繋がりを	34	ピンカール
11	スカルプチュアとウェーブの繋がりを	35	全頭レベルチェック
12	ウェーブとスカルプチュアの繋がりを・構成	36	ウェーブとピンカールの繋がりを
13	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	37	全頭
14	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	38	ピンカール
15	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	39	全頭
16	ウェーブ幅確認・左右収まり確認	40	全頭
17	クロキノールカール・作り方・収まり確認	41	レベルチェック
18	クロキノールカール・作り方・収まり確認	42	全頭
19	収まり確認、バランス確認・スカルプチュアとウェーブの繋がりを	43	全頭
20	クロキノールカール・収まり確認	44	全頭
21	シェーブ・繋がりを・左右バランス	45	全頭
22	シェーブ・繋がりを・左右バランス・ピンカールの収まり・ウェーブとの繋がりを	46	全頭
23	復習	47	全頭
24	1段目作り方		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容実習 (ワインディング)	学年	1年
担当教員	八木 美紀・畠山 知代美・井上 仁子・海野 知子・磯部 丈二	学科	美容科	時間数	229コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	国家試験課題の構成を理解する 基礎を学ぶ
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容

1	道具の扱い・準備の仕方	20	フロント～サイド
2	センターブロッキング	21	レベルチェック
3	センター（上巻,下巻）	22	左フロント～サイド
4	センター（上巻,下巻）	23	左フロント～サイド
5	センター（上巻,下巻）	24	左フロント～サイド
6	センター（上巻,下巻）	25	左フロント～サイド
7	センター（上巻,下巻）	26	左フロント～サイド
8	センター（上巻,下巻）	27	レベルチェック
9	センター（上巻,下巻）	28	全頭
10	レベルチェック	29	全頭
11	ブロック（フロント～サイド）	30	全頭
12	ブロック（フロント～サイド）	31	全頭
13	フロント～サイド	32	レベルチェック
14	フロント～サイド	33	全頭
15	フロント～サイド	34	全頭
16	フロント～サイド	35	レベルチェック
17	フロント～サイド	36	レベルチェック
18	フロント～サイド	37	全頭
19	フロント～サイド		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容実習 (その他)	学年	1年
担当教員	八木 美紀・島山 知代美・井上 仁子・海野 知子・磯部 丈二	学科	美容科	時間数	83コマ

授業内容	国家試験合格に向け、集中的に課題に取り組む
授業目標	オールウェーブセッティング用ウィッグの作成 ワインディングコンテストに向けて技術力を高める サロン実習を通し、現場を知る
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	試験振り返り	16	試験振り返り
2	シザー、レザーの使い方	17	ブロックの練習・ブロック復習
3	オールウェーブセッティングウィック作成	18	ブロックの練習・ブロック復習
4	オールウェーブセッティングウィック作成	19	ブロックの練習
5	オールウェーブセッティングウィック作成	20	ブロックの練習
6	オールウェーブセッティングウィック作成	21	研修会
7	ロッド巻き	22	研修会
8	ロッド巻き・薬液処理	23	研修会
9	ブロッキング・ブロック復習	24	研修会
10	ブロック復習		
11	全頭タイム入れ		
12	全頭タイム入れ		
13	全頭タイム入れ		
14	全頭タイム入れ		
15	コンテスト		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティー (ヘアスタイリストコース)	学年	1年
担当教員	島山 知代美・磯部 丈二・海野 知子・佐々木 萌	学科	美容科	時間数	228コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、 専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	現場に基づいた技術やサロンワークを学ぶ 有名アーティストの技を見る				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講義紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニター等を使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	ワインディング・準備の仕方・用具類の取り扱い・基本作業の説明・練習	30	作品づくり
2	カット基礎	31	作品づくり
3	ワンレングス	32	スタイル巻き
4	アイロンの使い方・ビンの使い方・ボニーテールアレンジ	33	メイク
5	ブリーチ	34	スタイル巻き
6	レイヤー	35	ナチュラルメイク
7	ブリーチ	36	スタイル巻き
8	グラデーション	37	ナチュラルメイク
9	マッサージ技法	38	カット（サロンスタイル）・カラー（ハイライト）
10	編み込み	39	カット（サロンスタイル）
11	ウィーピング・グラデーションカラー	40	コンテスト仕込み
12	ショートレイヤー	41	コンテスト仕込み
13	ヘアマニキュア	42	デモンストレーション
14	レイヤー	43	コンテスト仕込み
15	メンズカット	44	コンテスト仕込み
16	トレンドヘアアレンジ	45	コンテスト仕込み
17	メンズカット	46	コンテスト仕込み
18	夜会巻きスタイル	47	コンテスト仕込み
19	メンズカット	48	コンテスト
20	カット	49	コンテスト振り返り
21	レザーカット	50	デモンストレーション
22	アップスタイル	51	カット（サロンスタイル）・カラー（グラデーション）
23	レザーカット	52	カット（サロンスタイル）
24	ワインディング	53	撮影方法・スタイリング
25	ワインディング	54	刈り上げ
26	ワインディング	55	コンテスト仕込み
27	ワインディング	56	コンテスト仕込み
28	作品づくり	57	コンテスト仕込み
29	作品づくり	58	コンテスト仕込み

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティ (ヘアメイクコース)	学年	1年
担当教員	井上 仁子・村山 朱奈乃	学科	美容科	時間数	228コマ
授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。				
授業目標	プロからの技術を学ぶ ヘアメイクや作品撮り等現場の技術を学ぶ				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点 (成績点)				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。				

授業計画及び学習の内容			
1	ワインディング・準備の仕方、用具類の取り扱い	33	まつ毛エクステンション
2	メイク・テーブルセッティング・メイク前準備・ベース・コントロールカラー	34	ポップメイク
3	ブロッキングの取り方、一寒、ピンニング・コーミング・お団子アレンジ	35	ダブルライン・アイメイク
4	アイロンの使い方・ブロー・編み込み	36	まつ毛エクステンション
5	スキンケア・ファンデーション	37	まつ毛エクステンション
6	校外見学	38	アイブロウトリミング
7	ファンデーション、コンシーラー、ハイライト、シェーディング	39	コントゥアリングメイク・クールメイク ゴージャスメイクデモンストレーション
8	ホットカラーの使い方・編み込み・アップスタイル	40	まつ毛エクステンション
9	編み込み・逆毛の基本、逆毛を使ったアレンジ	41	まつ毛エクステンション
10	アイメイク・アイブロウ	42	クールメイク
11	ブライマリー（ナチュラル）・タイム取り	43	ゴージャスメイク
12	ヘアセット・すき毛の使い方・夜会	44	まつ毛エクステンション検定
13	ヘアセット・アップスタイル・アレンジスタイル	45	化粧品の使用講座
14	ブライマリー（ナチュラル）	46	検定練習・リハーサル
15	ブライマリー（ナチュラル）	47	検定試験
16	ヘアセット・アップスタイル	48	ブライダル和装メイクデモンストレーション
17	ヘアセット・デザイン画作成	49	ブライダル見学
18	ブライマリー（ナチュラル）	50	デザインカット・カラー塗布
19	ブライマリー（ナチュラル）検定	51	デザインカット・カラー塗布・スタイリング
20	アレンジコンテスト	52	ブライダルメイク
21	ワインディング	53	化粧品の使用講座
22	ワインディング	54	校外学習
23	ワインディング	55	カラー塗布・スタイリング
24	ワインディング	56	ブライダルメイク・お色直しのデモ、ドレスの着せ方
25	作品づくり	57	ブライダルメイク・メイク・ヘア相モデル・ドレス撮影
26	作品づくり	58	ラインメイク・多色グラデーションメイク
27	作品づくり	59	ラインメイク・多色グラデーションメイク・撮影
28	作品づくり	60	相モデルメイク・撮影
29	まつ毛エクステンション	61	相モデルメイク 撮影
30	キュートメイク、ポップメイクデモンストレーション	62	ブライダルヘア
31	キュートメイク	63	ブライダルヘアメイク
32	まつ毛エクステンション		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティ (美容師総合コース)	学年	1年
担当教員	八木 美紀	学科	美容科	時間数	228コマ

授業内容	基本的技術から発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ ヘア・メイク・ネイル・エステ・まつ毛エクステンション等美容技術を幅広く習得する
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容

1	ワインディング・準備の仕方、用具類の取り扱い・基本作業の説明・練習	26	ネイリスト技能検定
2	プライマリー（ナチュラルメイク）・セッティング・ベース	27	ネイリスト技能検定
3	プライマリー（ナチュラルメイク）・ハイライト・アイメイク	28	作品づくり
4	プライマリー（ナチュラルメイク）・眉・フルメイク	29	ネイリスト技能検定
5	応用メイク	30	ネイリスト技能検定
6	メイクプライマリー（ナチュラルメイク）検定	31	ベースカット
7	編み込み・アイロン・ハーフアップ	32	カラーリング・スタイリング
8	ホットカーラー・夜会巻	33	まつ毛エクステンション
9	アップスタイル	34	まつ毛エクステンション
10	コンテスト	35	ベースカット
11	ネイリスト技能検定	36	カラーリング・スタイリング
12	ネイリスト技能検定	37	まつ毛エクステンション
13	ワインディング	38	まつ毛エクステンション
14	ワインディング	39	デモンストレーション
15	ワインディング	40	校外授業
16	ワインディング	41	カラーリング・スタイルチェンジ・スタイリング
17	作品づくり	42	カット・パーマ・スタイリング
18	作品づくり	43	カット・パーマ・スタイリング
19	作品づくり	44	エステ
20	作品づくり	45	エステ
21	ネイリスト技能検定	46	エステ
22	ネイリスト技能検定	47	撮影
23	ネイリスト技能検定	48	撮影
24	ネイリスト技能検定	49	エステ
25	ネイリスト技能検定		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ヘアケア	学年	1年
担当教員	八木 美紀・佐々木 萌・島山 知代美 井上 仁子・海野 知子・磯部 丈二・村山 未奈乃	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得るため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	シャンプーの流れ、手技を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法及び講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ブレーンリンス	16	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ
2	ブレーンリンス	17	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ
3	サイドシャンプー	18	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ
4	サイドシャンプー・ブラッシング	19	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ
5	サイドシャンプー・ブラッシング・ドライ	20	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ
6	サイドシャンプー・ブラッシング・ドライ		
7	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
8	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
9	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
10	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
11	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
12	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
13	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
14	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		
15	サイドシャンプー・ブラッシング・マッサージ・ドライ		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス	学年	1年
担当教員	八木 美紀・佐々木 萌・島山 知代美 井上 仁子・海野 知子・磯部 文二・村山 未奈乃	学科	美容科	時間数	40コマ

授業内容	美容サービスの一環として行うカウンセリングの意義、目的、内容、実施上の留意点などについて、 実地に即した課題を提起し自らが学び、美容師の業務を全うするためには、正確な技術を提供するとともに、 顧客の要望に応じた適切なカウンセリングの実施が重要であることを知る。
授業目標	人間力アップ・働く心構え
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・演習

授業計画及び学習の内容			
1	入学時と現状		
2	クラス目標		
3	働く		
4	学生と社会人の違い・仕事をする意味		
5	学生と社会人の違い・仕事をする意味		
6	第一印象・挨拶・敬語・謙譲語・身だしなみ・人間力アップ		
7	人との関わり・協調性を養う		
8	接客業でのおもてなし精神を高める・接客業に必要なことを学ぶ		
9	意識付け・自己分析・求人票の見方・履歴書の書き方		
10	会社説明会に参加するにあたっての心構え		
11	言葉遣い・立ち振る舞い		
12	言葉遣い・立ち振る舞い		
13	言葉遣い・立ち振る舞い		
14	ロールプレイン		
15	サロン規模による集計		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	衛生管理	学年	2年
担当教員	忠平 和佳	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	公衆衛生を対人的な健康や疾病を中心とした予防衛生として学ぶ環境衛生を、 対物的な空気、水、日光や衣食住と健康との関係、快適な環境を確保するための環境保全を中心に学ぶ
授業目標	美容師として公衆衛生を遵守する 国家試験に合格する
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	公衆衛生の意義と課題	16	大気
2	公衆衛生発展の歴史	17	大気
3	理・美容師と公衆衛生 保健所	18	衣服
4	保健所と理容業・美容業 母子保健	19	住居
5	母子保健	20	住居
6	母子の健康管理、死亡率	21	上下水道と廃棄物
7	生活習慣病	22	上下水道と廃棄物
8	生活習慣病	23	衛生害虫
9	生活習慣病	24	環境保全
10	老人保健	25	総まとめ
11	介護保険	26	対策 公衆衛生・環境衛生
12	精神保健	27	国家試験対策
13	まとめ	28	国家試験対策
14	まとめ	29	国家試験対策
15	環境要因	30	国家試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	保健	学年	2年
担当教員	上野 淳紀	学科	美容科	時間数	45コマ

授業内容	人体組織の名前や構造、機能、特に皮膚及び毛髪などの構造と機能を学ぶ。
授業目標	人体の構造と機能を理解する 国家試験によく出る単語を中心に理解を深める
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	体表解剖学	23	血液、循環器系
2	体表解剖学	24	血液、循環器系
3	骨格筋系	25	血液、循環器系
4	骨格筋系	26	血液、循環器系
5	骨格筋系	27	呼吸器系
6	筋系	28	呼吸器系
7	筋系	29	呼吸器系
8	筋系	30	消化器系
9	神経系	31	消化器系
10	神経系	32	消化器系
11	神経系	33	消化器系
12	神経系	34	復習
13	感覚器系	35	復習
14	感覚器系	36	復習
15	感覚器系	37	復習
16	復習	38	復習
17	復習	39	復習
18	復習	40	復習
19	演習	41	総まとめ
20	演習	42	国家試験対策
21	演習	43	国家試験対策
22	演習	44	国家試験対策
23	血液、循環器系		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	化粧品化学 (化学)	学年	2年
担当教員	黒澤 正樹	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や化粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させる。 特に、基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つものであることを理解させ化粧品の合理的な取り扱い方法に習熟させる。 あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。
授業目標	化粧品用原料（水性原料と油性原料）と色材、香料を覚える 基礎化粧品（石けん、化粧水、クリーム、乳液など）を覚える メイクアップ用化粧品・芳香製品を覚える 頭皮・毛髪用化粧品（シャンプー剤、染毛剤、パーマメント剤など）覚える
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	化粧品（医薬部外品・エモリエント剤など）	16	化粧品（芳香製品・特殊化粧品のまとめ）
2	化粧品（色材・その他の配合成分など）	17	化粧品（スタイリング剤・メイクアップ化粧品の復習）
3	化粧品（界面活性剤・高分子化合物など）	18	まとめ
4	化学（有機化合物・酸と塩基）	19	まとめ
5	化学（結合・融解度など）	20	国家試験対策
6	化学（アルコール・コロイド）	21	国家試験対策
7	まとめ	22	国家試験対策
8	酸化・還元解説と演習	23	化粧品・化学重要事項のまとめと確認
9	化粧品（パーマメントウェーブ）解説と演習	24	化粧品・化学重要事項のまとめと確認
10	化粧品（染毛剤）解説と演習	25	化粧品・化学重要事項のまとめと確認
11	化粧品・化学重要事項のまとめと確認	26	化粧品・化学重要事項のまとめと確認
12	化粧品・化学重要事項のまとめと確認	27	後期試験の解説と総復習
13	まとめと演習	28	演習と解説
14	まとめと演習	29	演習と解説
15	前期試験の解説と総復習	30	演習と解説

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	文化論	学年	2年
担当教員	西澤 レイ	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	どのような時代背景の中でどのような美しさが求められたかを知り今につなげる 美容師として美の成り立ちやあり方を知る
授業目標	美容業の使命の1つである、「より優れた人間美の創造と実現にあたること」を認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、洗練し、芸術的な表現力を養う。美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力が必要であることを自覚させる。
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	西洋史/古代	16	礼装/和装 洋装
2	西洋史/中世	17	日本史/総論
3	西洋史/近世 16世紀	18	日本史/古代(飛鳥、奈良、平安) 中世(平安、鎌倉、室町、戦国) 近世(戦国 安土桃山)
4	西洋史/近世 17世紀	19	日本史/近世(江戸)
5	西洋史/近世 18世紀	20	日本史/近世(明治 大正 昭和) 現代(1945~1950年代)
6	西洋史/近世 18~19世紀	21	日本史/まとめテスト
7	西洋史/近世 18~19世紀	22	日本史/まとめテスト
8	まとめ/小テスト	23	まとめ/小テスト
9	西洋史/1910~1920年代 1930~1940年代	24	総復習
10	西洋史/1940~1950年代	25	総復習
11	西洋史/1960~1970年代	26	国家試験対策
12	西洋史/1980年代 1990~2010年代	27	国家試験対策
13	まとめ/小テスト	28	国家試験対策
14	総復習	29	国家試験対策
15	総復習	30	国家試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容技術理論	学年	2年
担当教員	澤布久 横希・中山 泉・中村 仁美・太田 俊一・林 成美・金川 よし子	学科	美容科	時間数	60コマ
授業内容	技術にはその裏付けとなる理論が必要である。 理論を理解することで、技術が生きてくることを理解する。				
授業目標	美容師資格を取得するため基礎から学び理解する 国家試験受験のため理解度のレベルを上げる				
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義				

授業計画及び学習の内容			
1	エステティック	31	ヘアカッティング
2	エステティック	32	ヘアカッティング
3	エステティック	33	まとめテスト
4	まとめテスト	34	パーマネットウェービング
5	ネイル技術	35	パーマネットウェービング
6	ネイル技術	36	まとめテスト
7	ネイル技術	37	ヘアセッティング
8	まとめテスト	38	ヘアセッティング
9	メイクアップ	39	ヘアセッティング
10	メイクアップ	40	ヘアセッティング
11	メイクアップ	41	ヘアセッティング
12	メイクアップ	42	ヘアセッティング
13	まとめテスト	43	ヘアセッティング
14	日本髪	44	ヘアセッティング
15	日本髪	45	まとめテスト
16	まとめテスト	46	まとめ
17	着付け	47	まとめ
18	着付け	48	まとめ
19	着付け	49	まとめ
20	着付け	50	まとめ
21	まとめテスト	51	まとめ
22	復習	52	まとめ
23	復習	53	まとめ
24	復習	54	まとめ
25	復習	55	まとめ
26	復習	56	学科試験振り返り
27	復習	57	美容用具
28	復習	58	シャンプーイング ヘアデザイン
29	復習	59	国家試験対策
30	学科試験振り返り	60	国家試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	運営管理	学年	2年
担当教員	野上 淳	学科	美容科	時間数	30コマ

授業内容	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ 顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて学ぶ
授業目標	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ 顧客を満足させるサービスとはなにか。それをどう実現するかについて学ぶ
成績評価方法	成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	経営が必要な理由	16	医療保険
2	経営とは何か	17	労働保険
3	経営戦略	18	キャリアプラン
4	業界の概要	19	価値の実態
5	理・美容業の顧客	20	顧客満足
6	資産管理	21	価値の多様性
7	会計・コスト管理	22	マーケティング・ミックス
8	税金	23	マーケティング・ミックス
9	人という資源	24	マーケティング・ミックス
10	やる気・給与	25	サービスのシステム化
11	待遇・福利厚生	26	接客について
12	労働者の権利	27	接客の実践
13	健康管理	28	接客の実践
14	健康問題	29	接客の実践・トラブル
15	公的年金	30	接客での問題

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	美容実習	学年	2年
担当教員	津布久 慎希・中山 泉・中村 仁美・太田 俊一・林 成美・金川 よし子	学科	美容科	時間数	452コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を得得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を得得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	国家試験課題を理解し合格へと導く
成績評価方法	成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合、単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	国家試験対策	16	国家試験対策
2	国家試験対策	17	国家試験対策
3	国家試験対策	18	国家試験対策
4	国家試験対策	19	国家試験対策
5	国家試験対策	20	国家試験対策
6	国家試験対策	21	国家試験対策
7	国家試験対策	22	国家試験対策
8	国家試験対策	23	国家試験対策
9	国家試験対策	24	国家試験対策
10	国家試験対策	25	国家試験対策
11	国家試験対策	26	国家試験対策
12	国家試験対策	27	国家試験対策
13	国家試験対策	28	国家試験対策
14	国家試験対策	29	国家試験対策
15	国家試験対策	30	国家試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティー (ヘアスタイリストコース)	学年	2年
担当教員	津布久 慎希・太田 俊一・中村 仁美	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	基本的技術をさらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	現場に基づいた技術やサロンワークを学ぶ 有名アーティストの技を見る
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	ワインディング	16	試験に向けて技術の向上
2	ワインディング	17	試験に向けて技術の向上
3	ワインディング	18	試験に向けて技術の向上
4	メンズカット・パーマ	19	試験に向けて技術の向上
5	メンズカット・パーマ	20	試験に向けて技術の向上
6	ワインディング	21	試験に向けて技術の向上
7	ワインディング	22	試験に向けて技術の向上
8	メンズカラー・撮影	23	試験に向けて技術の向上
9	コンテスト仕込み	24	試験に向けて技術の向上
10	ワインディング	25	試験に向けて技術の向上
11	ワインディング	26	試験に向けて技術の向上
12	コンテスト仕込み	27	試験に向けて技術の向上
13	校内コンテスト	28	試験に向けて技術の向上
14	ワインディング	29	試験に向けて技術の向上
15	ワインディング	30	試験に向けて技術の向上

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティ (ヘアメイクコース)	学年	2年
担当教員	金川 よし子・林 成美	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また自らも新しい技術の開発に努める姿勢を習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。
授業目標	プロからの技術を学ぶ 特殊メイクからメイクの応用技術を学ぶ カラーリングの応用技術やカット技法を学ぶ
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	ワインディング	16	試験に向けて技術の向上
2	ワインディング	17	試験に向けて技術の向上
3	ワインディング	18	試験に向けて技術の向上
4	特殊メイク	19	試験に向けて技術の向上
5	特殊メイク	20	試験に向けて技術の向上
6	ワインディング	21	試験に向けて技術の向上
7	ワインディング	22	試験に向けて技術の向上
8	特殊メイク	23	試験に向けて技術の向上
9	カットカラー	24	試験に向けて技術の向上
10	ワインディング	25	試験に向けて技術の向上
11	ワインディング	26	試験に向けて技術の向上
12	カットカラー	27	試験に向けて技術の向上
13	カットカラー	28	試験に向けて技術の向上
14	ワインディング	29	試験に向けて技術の向上
15	ワインディング	30	試験に向けて技術の向上

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティ (美容師総合コース)	学年	2年
担当教員	中山 泉	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	実践で活躍しているプロの技術を学ぶ 着付けなどの美容技術を幅広く習得する
授業目標	日本の伝統文化である着物にふれて学ぶことで礼儀作法を身につける 着付けのプロセスを習得する
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。

授業計画及び学習の内容			
1	ワインディング	16	試験に向けて技術の向上
2	ワインディング	17	試験に向けて技術の向上
3	ワインディング	18	試験に向けて技術の向上
4	着付け	19	試験に向けて技術の向上
5	着付け	20	試験に向けて技術の向上
6	ワインディング	21	試験に向けて技術の向上
7	ワインディング	22	試験に向けて技術の向上
8	着付け	23	試験に向けて技術の向上
9	着付け	24	試験に向けて技術の向上
10	ワインディング	25	試験に向けて技術の向上
11	ワインディング	26	試験に向けて技術の向上
12	着付け	27	試験に向けて技術の向上
13	着付け	28	試験に向けて技術の向上
14	ワインディング	29	試験に向けて技術の向上
15	ワインディング	30	試験に向けて技術の向上

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ヘアケア	学年	2年
担当教員	津布久 楨希・中山 泉・中村 仁美・太田 俊一・林 成美・金川 よし子	学科	美容科	時間数	60コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。
授業目標	シャンプーの手技を学ぶ 気持ちの良いシャンプーを心掛ける
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	サイドシャンプー	16	システムトリートメント
2	サイドシャンプー	17	システムトリートメント
3	サイドシャンプー	18	ヘッドスパ
4	サイドシャンプー	19	ヘッドスパ
5	サイドシャンプー	20	ヘッドスパ
6	サイドシャンプー		
7	サイドシャンプー		
8	リアシャンプー		
9	リアシャンプー		
10	リアシャンプー		
11	リアシャンプー		
12	リアシャンプー		
13	リアシャンプー		
14	リアシャンプー		
15	システムトリートメント		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	コンプリート	学年	2年
担当教員	津布久 慎希・中山 泉・中村 仁美・太田 俊一・林 成美・金川 よし子	学科	美容科	時間数	187コマ

授業内容	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。 美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。 個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。 国家試験に向けた学科対策
授業目標	国家試験合格のためレベルアップ
成績評価方法	《実技》成績評価は実技70点以上・衛生80点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 実技69点以下・衛生79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。 《学科》成績評価は60点以上合格かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 59点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	《実技》講義・実習・デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。 また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導する。 《学科》講義 担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	国家試験対策	19	国家試験対策
2	国家試験対策	20	国家試験対策
3	国家試験対策	21	国家試験対策
4	国家試験対策	22	国家試験対策
5	国家試験対策	23	国家試験対策
6	国家試験対策	24	国家試験対策
7	国家試験対策	25	復習
8	国家試験対策	26	復習
9	国家試験対策	27	復習
10	国家試験対策	28	復習
11	国家試験対策	29	復習
12	国家試験対策	30	復習
13	国家試験対策	31	復習
14	国家試験対策	32	復習
15	国家試験対策	33	復習
16	国家試験対策	34	復習
17	国家試験対策	35	復習
18	国家試験対策		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーⅠ (エステ基礎)	学年	1年
担当教員	森田 光子・學野 元美・河野 直美・青木 さやか	学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ

授業内容	(一般社団法人)日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関するフェイシャルの基礎知識・技術を理解し実践する能力を身につける
授業目標	(一般社団法人)日本エステティック協会のAjesthe認定フェイシャルエステティシアン資格取得 エステティックの知識と技術の習得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

1	エステティックの概念	16	マッサージ
2	エステティックの語源	17	マッサージ
3	エステティックの領域	18	マッサージ
4	歴史とエステティシアン資格	19	マッサージ
5	エステティシアンに関わる法律	20	マッサージ
6	特定商取引法	21	マッサージ
7	割賦販売法	22	マッサージ
8	エステティック業界の統一自主基準	23	マッサージ
9	フェイシャルエステティックの流れ	24	マッサージ
10	クレンジング	25	マッサージ
11	クレンジング	26	マッサージ
12	クレンジング	27	パック・マスク
13	クレンジング	28	パック・マスク
14	ふき取り	29	仕上げ
15	マッサージ	30	仕上げ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーⅠ (ネイル基礎)	学年	1年
担当教員	高田 雅恵・高橋 絵美・森 由香里	学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ

授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイルケアを学びネイリスト検定3級取得を目指す。
授業目標	ネイリスト検定3級取得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	JNAテクニカルシステム	16	JNAテクニカルシステム
2	JNAテクニカルシステム	17	JNAテクニカルシステム
3	JNAテクニカルシステム	18	JNAテクニカルシステム
4	JNAテクニカルシステム	19	JNAテクニカルシステム
5	JNAテクニカルシステム	20	JNAテクニカルシステム
6	JNAテクニカルシステム	21	JNAテクニカルシステム
7	JNAテクニカルシステム	22	JNAテクニカルシステム
8	JNAテクニカルシステム	23	JNAテクニカルシステム
9	JNAテクニカルシステム	24	JNAテクニカルシステム
10	JNAテクニカルシステム	25	JNAテクニカルシステム
11	JNAテクニカルシステム	26	JNAテクニカルシステム
12	JNAテクニカルシステム	27	JNAテクニカルシステム
13	JNAテクニカルシステム	28	試験対策
14	JNAテクニカルシステム	29	試験対策
15	JNAテクニカルシステム	30	試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーⅠ (メイク基礎)	学年	1年
担当教員	山口 快絵・松山 智明	学科	トータルビューティー科	時間数	130コマ
授業内容	クレンジングからフルメイクまで、メイクアップの基礎を習得する				
授業目標	<p>メイク技術の基本となる立体・グラデーション・カラーバランス・質感を理解し、設定された時間内でメイクアップを施せるスキル習得を目標とする。</p> <p>基本を軸にナチュラルメイク、イメージメイクなどモデルに合わせたメイク技術を習得する。TSBSメイクディプロマプライマリー試験の合格を目指す。</p> <p>スキンケア・ベースメイク・ポイントメイクスキル・フルメイク基礎の総仕上げを行う。</p> <p>また、顔型別のメイク技術・印象別メイク技術やメイクの応用技術を習得する。</p> <p>化粧品メーカー広告スチール模写メイクなど現場も行い、卒業後即戦力となるべくメイクスキル基礎の習得を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。</p> <p>79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>実習</p> <p>担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				

授業計画及び学習の内容			
1	道具の名称、メンテナンスセッティング	16	クレンジング・美容液・乳液
2	道具に触れてみる、セルフメイク/基本のスキンケア	17	コンシーラー・コントロールカラー・ファンデーションの基礎
3	相モデルで、クレンジング、スキンケア、ベースメイクを行う	18	スキンケアからファンデーション基礎
4	ベースメイク～フルメイク	19	アイブロウ・アイカラー・アイライン・マスカラ基礎
5	ベースメイク～アイブロウ	20	リップ・チーク・ポイントメイク基礎総仕上げ
6	ベースメイク～アイメイク	21	基礎フルメイク総仕上げ
7	ベースメイク～フルメイク	22	化粧品メーカー広告スチール模写メイク
8	イメージメイク	23	顔型別ハイライト・シャドー
9	イメージメイク	24	顔型別ハイライト・シャドー
10	イメージメイク	25	応用アイメイク
11	イメージメイク	26	応用リップ・チーク
12	イメージメイク	27	応用フルメイク
13	プライマリー試験の試験対策	28	印象別フルメイク
14	プライマリー試験の試験対策	29	印象別フルメイク
15	メイクプライマリー試験実施	30	応用総復習

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーII (トータルメイク)	学年	1年
担当教員	松山 智明・山口 快絵・荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	122コマ

授業内容	肌質別やプロポーション、パーソナル別のスキンケアとメイク技術を習得する。
授業目標	様々な肌質による最適なスキンケア方法やファンデーションのあり方、 一重・二重・奥二重など様々な目元に最適なアイメイク手法、 唇の厚みや幅などプロポーション別の手法、顔型・目元・唇のプロポーション別による手法など、 パーソナル別に対応できるスキンケア・メイクをの技術を習得する。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% = 56点+7点+10点 = 73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	実習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	肌質別スキンケア実習	16	課題作成
2	肌質別のスキンケア方法	17	課題作成
3	基礎化粧品推奨	18	課題作成
4	肌質別ファンデーション	19	課題作成
5	肌質別による最適なファンデーション推奨の在り方	20	課題作成
6	各種ファンデーションの質感変化	21	課題作成
7	香粧品	22	課題作成
8	皮膚作用の理論	23	課題作成
9	プロポーション別ポイントメイク	24	課題作成
10	目元・口元に最適な手法のアイメイク	25	課題作成
11	リップメイク	26	課題作成
12	パーソナル別フルメイク	27	課題作成
13	顔型、目元、唇などプロポーション別による最適なベストメイク	28	課題発表
14	フルメイク	29	課題発表
15	課題作成	30	課題発表

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーⅡ (トータルネイル)	学年	1年
担当教員	高田 雅恵・佐藤 彩・高橋 絵美・森 由香里	学科	トータルビューティー科	時間数	122コマ

授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学び、ジェルネイル技能検定初級取得を目指す。
授業目標	ジェルネイル検定初級取得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	JNAテクニカルシステム ジェルネイル	16	ジェルネイル技能検定試験対策
2	ジェルネイル基礎理論	17	ジェルネイル技能検定試験対策
3	ジェルネイル概論	18	ジェルネイル技能検定試験対策
4	ジェルネイル材料の基礎理論	19	ジェルネイル技能検定試験対策
5	ジェルネイル技術体系	20	ジェルネイル技能検定試験対策
6	爪の構造と働き	21	ジェルネイル技能検定試験対策
7	ジェルネイルの用具用材	22	ジェルネイル技能検定試験対策
8	ジェルネイル用具の衛生管理	23	ジェルネイル技能検定試験対策
9	爪の病気	24	ジェルネイル技能検定試験対策
10	ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止	25	ジェルネイル技能検定試験対策
11	ジェルアート技術	26	ジェルネイル技能検定試験対策
12	ピーコック	27	ジェルネイル技能検定試験対策
13	ジェルネイル技能検定試験対策	28	ジェルネイル技能検定試験対策
14	ジェルネイル技能検定試験対策	29	ジェルネイル技能検定試験対策
15	ジェルネイル技能検定試験対策	30	ジェルネイル技能検定試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	トータルビューティーII (トータルエステ)	学年	1年
担当教員	河野 直美・岡田 紀江・青木 さやか	学科	トータルビューティー科	時間数	123コマ
授業内容	一般社団法人日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関するフェイシャル・ボディの基礎知識・技術を理解し実践する能力を身につける				
授業目標	エステティック試験センターの「技術力確認試験」「センター試験」の資格取得 真のエステティシャンとして成長するために必要なエステティックの知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育む				
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容

1	カウンセリング	16	ボディエステティックとは
2	カウンセリング	17	ボディエステティックとはの目的と効果
3	スキンチェック	18	事前準備とカウンセリング
4	ディープクレンジング	19	ボディ観察
5	ディープクレンジング	20	禁忌事項
6	ディープクレンジング	21	ボディマッサージ
7	ディープクレンジング	22	ボディマッサージ
8	ディープクレンジング	23	ボディマッサージ
9	ディープクレンジング	24	ボディマッサージ
10	ディープクレンジング	25	骨格系
11	ディープクレンジング	26	筋肉系
12	ディープクレンジング	27	リンパ系
13	ディープクレンジング	28	基本手技
14	ディープクレンジング	29	基本手技
15	ボディ技術理論	30	基本手技

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (衛生)	学年	1年
担当教員	忠平 和佳	学科	トータルビューティー科	時間数	8コマ
授業内容	<p>お客様に常に最高のサービスを提供できるよう、自身の心身の健康に留意すると共に常に公衆衛生の向上を心がける必要がある。</p> <p>そこで、公衆衛生・衛生管理について学ぶ。</p> <p>衛生の授業で伝える内容は、「財団法人日本エステティック研究財団」発行の「エステティック業務に関する衛生措置の適正化基準」がガイドラインとなっている。</p>				
授業目標	<p>メイク、ネイル、エステティックは、お客様の肌や身体に直接触れて施術を行うため、常に衛生基準の順守に努めなければなりません。</p> <p>また、お客様の心身の健康維持、増進に貢献するためにも衛生管理は最も大切な義務である。</p> <p>安全で安心なサービス実践の為に公衆衛生の意義を学び、お客様に提供する快適な環境とは具体的にどのようなものであるかと考え、実践していくことを目的とする。</p> <p>私たちの健康状態は、季節や風土、住環境、外的環境、加齢による変化に伴って、微生物に対する感受性や免疫力の変化が現れる。</p> <p>皮膚の常在菌や病原微生物、細菌、ウイルスなどについて正しい知識を学び、消毒の具体的な方法と消毒剤の特徴と使用法の習得を目標とする。</p>				
成績評価方法	<p>試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。</p> <p>79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	講義				

授業計画及び学習の内容			
1	公衆衛生		
2	公衆衛生		
3	公衆衛生		
4	衛生管理		
5	衛生管理		
6	衛生管理		
7	衛生管理		
8	感染症		
9	感染症		
10	衛生管理の実践		
11	衛生管理の実践		
12	衛生管理の実践		
13	衛生管理の実践		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (解剖生理学)	学年	1年
担当教員	坂本 早富	学科	トータルビューティー科	時間数	40コマ

授業内容	身体の基本・骨格系、筋系・神経系・感覚・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・生殖器について学ぶ
授業目標	人を施術する際、人の身体に触れ筋肉やリンパ節も正確な位置を確かめ心身の様々な反応を確認しながら施術方法を調整できるように身体の「はたらき」と「つくり」を解剖生理学として学んでいく。
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容

1	解剖学とは	16	心臓の構造・血液循環
2	身体の構造・身体的设计図	17	心臓の興奮伝達系
3	身体を構成する物質・必要な物質	18	リンパ系
4	血液・物質運搬	19	消化器系の構造
5	体区分	20	腎臓とは
6	骨格・筋肉系	21	副腎とは
7	神経細胞・神経系の種類	22	月経のメカニズム
8	中枢神経系	23	妊娠
9	末梢神経系	24	胚葉分化
10	感覚～外界情報の収集		
11	内分泌系の役割		
12	各内分泌腺とホルモンの種類		
13	呼吸のあらまし・外呼吸と内呼吸		
14	呼吸器の構造・呼吸運動		
15	呼吸運動の調節		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (皮膚)	学年	1年
担当教員	浅野 七草・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	28コマ

授業内容	皮膚とスキンケアの関係を、「1. 皮膚の基本知識」、「2. 美容上大切な皮膚の6つの働き」、「3. 肌の美しさを損ねる要因」、「4. ささまざまな肌状態」、「5. 肌と環境」、「6. 肌分析」の6視点から学ぶ。
授業目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体に覆う最大の臓器である。紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしている。一方、皮膚自身のもつ見た目や触ったときの感触は人の美しさや健康度を表現するうえで重要な要素となっている。皮膚はまさに美と健康を守るバリアであると同時にその美しさを映し出す鏡でもある、つまり皮膚は「強く美しいバリア」の必要性がある。この皮膚の働きとしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケア方法を学ぶことを目的とする。
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義

授業計画及び学習の内容			
1	生体における皮膚の役割	16	胃腸の不調
2	皮膚の構造と働き	17	生活習慣
3	皮脂膜	18	肌意識の年代変化
4	角質層バリア	19	美しい肌・衰えた肌
5	表皮ターンオーバー	20	色素沈着を起こした肌
6	メラノサイトの働き	21	肌荒れと敏感
7	毛細血管の働き	22	肌と地域気候
8	線維芽細胞	23	肌と気象の季節区分
9	皮膚の働きのバランス	24	肌分析をおこなううえで考慮すべきポイント
10	紫外線	25	肌タイプ
11	寒気（身体の冷え）		
12	乾燥（湿度の低下、暖房の影響）		
13	加齢（エイジング）		
14	女性のリズム（月経、妊娠、更年期）		
15	精神的ストレス		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (化粧品学)	学年	1年
担当教員	河野 直美	学科	トータルビューティー科	時間数	14コマ

授業内容	化粧品概論・フェイシャル化粧品・ボディ化粧品・メイクアップ化粧品 ネイル化粧品・ヘアケア化粧品・フレグランス 化粧品の原料・化粧品に用いられる薬剤とその働き
授業目標	化粧品基材の保水効果やオイルシール効果などを把握することで肌の適合性を高める為、 化粧品の法律上の取り扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用する主な原料を学ぶ
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業内容及び学習の内容

1	化粧品・医薬部外品と薬事法	16	ポリッシュリムーバー
2	化粧インの分類	17	ヘアケア化粧品の目的と働き・洗髪料・育毛料
3	化粧品の品質と品質保証	18	ヘアスタイリング料・トリートメント料・染毛料
4	化粧品の取り扱い上の留意点	19	パーマネットウェーブ料・ヘアブリーチ
5	フェイシャル化粧品の目的と働き	20	フレグランスの目的と働き・女性用香水
6	洗顔化粧品・整肌化粧品	21	香水以外のフレグランス品
7	賦活化粧品	22	化粧品の使用目的と剤型タイプの特徴・水性原料
8	ボディ化粧品の目的と働き・洗浄料	23	保湿剤・油性原料・界面活性剤・高分子化合物
9	シェイプアップ料・サンケア料・制汗・防臭料	24	着色料・香料
10	浴用料・脱毛料	25	紫外線カット剤・酸化防止剤・防腐防カビ剤
11	メイクアップ化粧品の目的と働き	26	美白剤・肌荒れ防止剤など
12	ベースメイクアップ料	27	ニキビ用薬剤・制汗・防臭剤
13	ポイントメイクアップ料		
14	ネイル化粧品の目的と働き		
15	ネイルポリッシュ		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (メイク学科)	学年	1年
担当教員	松山 智明・坂本 早富・河野 直美	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ

授業内容	スキンケア・メイクに携わる上で、必要な皮膚理論やスキンケア概論、ベースメイク概論、アイブロウ・アイカラー・アイライン・マスカラ概論、リップ・チークブラッシュ概論、技術を習得する。
授業目標	スキンケア・メイクの理論的知識の習得を目的とする。
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	皮膚構造やメカニズム	16	復習
2	皮膚の役割や働き	17	復習
3	肌トラブルの原因やそのトラブルの回避方法	18	復習
4	肌トラブル事例紹介	19	復習
5	基礎化粧品役割と使用方法		
6	肌質別によるスキンケア方法や肌質ごとの特徴		
7	コンシーラー		
8	コントロールカラー		
9	各種ファンデーションの特徴や使用方法		
10	アイブロウからアイメイク全般の基礎		
11	応用テクニック理論		
12	リップ		
13	チークの基礎		
14	応用テクニック理論		
15	復習		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (ネイル学科)	学年	1年
担当教員	高田 雅恵・高橋 絵美・佐藤 彩・坂本 早富・河野 直美	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ

授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル、ネイルケアに関する理論的知識の習得。
授業目標	ジェルネイル技能検定初級筆記試験合格、ネイルに関する理論的知識の習得を目的とする。
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講義紹介	講義 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容	
1	ジェルネイル概論
2	ジェルネイル材料の基礎理論
3	ジェルネイルの技術形態
4	爪の構造と働き
5	ジェルネイルの用具用材
6	ジェルネイル用具の衛生管理
7	爪の病気
8	JNAジェルネイル技能検定試験の基本情報
9	JNAジェルネイル技能検定試験初級
10	過去問題を使用した試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (エステ学科)	学年	1年
担当教員	坂本 早富	学科	トータルビューティー科	時間数	24コマ

授業内容	(一般社団法人) 日本エステティック協会が定める認定講師、カリキュラム、施設、設備に基づき、 エステティックに関する解剖学・皮膚化学の基礎知識を理解し実習との関連性を理解し実践する能力を身につける
授業目標	エステティック試験センターの「技術力確認試験」「センター試験」の資格取得真のエスティシャンとして成長するために必要なエステティックの知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育む一般社団法人日本エステティック協会の「Ajesthe上級認定エステティシャン」取得のための知識を身につける
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容	
1	解剖学
2	解剖学
3	解剖学
4	基本手技
5	基本手技
6	基本手技
7	基本手技
8	皮膚学
9	皮膚学
10	皮膚学

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス	学年	1年
担当教員	荒川 泰子・山口 快絵・森 由香里	学科	トータルビューティー科	時間数	67コマ

授業内容	<p>社会人としての基本的スキルであるビジネスマナーを身に付け、「学生」から「社会人・組織人」への意識変革への知識・行動変容を行う。 また、美容接客サービス業に就くうえでの就職対策も行う。</p>
授業目標	<p>女性の美しさは、容姿だけではなく、その挙措に大きく左右される。 素晴らしい笑顔は勿論のこと、優雅で落ち着いた立ち居振る舞いを身に付けることで、お客様に快い印象と安心感を与える。 常に相手の立場にたったサービスを提供し、やすらぎと満足を与える中で信頼関係を構築するためには、優れた技術と正確な理論の上に、正しいマナーを体得することが重要であることから、基本からサロンワークにいたるまでの接客マナーを習得する。 サービス接客検定3級合格を目標とする。</p>
成績評価方法	<p>試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	サービススタッフの資質	16	対人技能
2	サービススタッフの資質	17	対人技能
3	サービススタッフの資質	18	対人技能
4	サービススタッフの資質	19	実務技能
5	サービススタッフの資質	20	実務技能
6	サービススタッフの資質	21	実務技能
7	サービススタッフの資質	22	実務技能
8	サービススタッフの知識	23	受験対策
9	サービススタッフの知識	24	受験対策
10	サービススタッフの知識	25	受験対策
11	サービススタッフの知識	26	受験対策
12	対人技能	27	受験対策
13	対人技能	28	受験対策
14	対人技能	29	受験対策
15	対人技能	30	受験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーベーシック	学年	1年
担当教員	森 由香里・山口 快絵	学科	トータルビューティ科	時間数	30コマ

授業内容	リフレクソロジー・ヨガ・ヘアアレンジ
授業目標	<p><リフレクソロジー>主に足裏の特定部位を押せば体の特定部位に変化が起こるという考えに基づき、疲労の改善などを図る。</p> <p><ヨガ>肉体をきれいにし、教科する鍛錬をすることでゆるがない、無の境地を目指す。</p> <p><ヘアアレンジ>施術者としてふさわしい、上品で清潔感のある髪型、夜会巻きを学ぶ。</p>
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。</p> <p>評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10%</p> <p>=56点+7点+10点</p> <p>=73点（成績点）</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>実習</p> <p>担当教員は、エステサロン・美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	リフレクソロジー	16	ヨガ
2	リフレクソロジー	17	ヨガ
3	リフレクソロジー	18	ヨガ
4	リフレクソロジー	19	ヨガ
5	リフレクソロジー	20	ヘアアレンジ
6	リフレクソロジー	21	ヘアアレンジ
7	リフレクソロジー	22	ヘアアレンジ
8	リフレクソロジー	23	ヘアアレンジ
9	リフレクソロジー	24	ヘアアレンジ
10	リフレクソロジー	25	ヘアアレンジ
11	ヨガ	26	ヘアアレンジ
12	ヨガ	27	ヘアアレンジ
13	ヨガ	28	ヘアアレンジ
14	ヨガ	29	ヘアアレンジ
15	ヨガ	30	ヘアアレンジ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	1年
担当教員	森 由香里・山口 快絵・松野 華織	学科	トータルビューティー科	時間数	182コマ

授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。
授業目標	学校や社会のルールへの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけて社会に適応する能力を養う。
成績評価方法	・出欠80%・課題に対しての習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

授業計画及び学習の内容			
1	入学式	16	校外学習
2	オリエンテーション	17	校外学習
3	オリエンテーション	18	認定フェイシャル試験
4	健康診断	19	海外研修
5	校外学習	20	後期実技試験
6	授業参観	21	後期学科試験
7	校外学習	22	大掃除
8	サービス接客検定	23	始業式
9	校外実習	24	ボランティア
10	校内コンテスト		
11	前期実技試験		
12	前期学科試験		
13	前夜祭		
14	学園祭		
15	ネイリスト検定試験		

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江・河野 直美	学科	トータルビューティー科	時間数	70コマ

授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対しての習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

No.	学習内容	時間	試験対策
1	救命救急	16	試験対策
2	コンテスト対策	17	試験対策
3	コンテスト対策	18	試験対策
4	コンテスト対策	19	試験対策
5	コンテスト対策	20	試験対策
6	コンテスト対策	21	試験対策
7	コンテスト対策	22	試験対策
8	コンテスト対策	23	試験対策
9	コンテスト対策	24	試験対策
10	コンテスト対策	25	試験対策
11	コンテスト対策	26	試験対策
12	コンテスト対策	27	試験対策
13	コンテスト対策	28	試験対策
14	コンテスト対策	29	試験対策
15	コンテスト対策	30	試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	70コマ

授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対しての習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

No.	学習内容	時間	試験対策
1	救命救急	16	試験対策
2	コンテスト対策	17	試験対策
3	コンテスト対策	18	試験対策
4	コンテスト対策	19	試験対策
5	コンテスト対策	20	試験対策
6	コンテスト対策	21	試験対策
7	コンテスト対策	22	試験対策
8	コンテスト対策	23	試験対策
9	コンテスト対策	24	試験対策
10	コンテスト対策	25	試験対策
11	コンテスト対策	26	試験対策
12	コンテスト対策	27	試験対策
13	コンテスト対策	28	試験対策
14	コンテスト対策	29	試験対策
15	コンテスト対策	30	試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江・武 知奈津・金濱 まりこ	学科	トータルビューティー科	時間数	200コマ

授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ホットストーンセラピー	16	スチューデントサロン
2	ホットストーンセラピー	17	スチューデントサロン
3	ホットストーンセラピー	18	スチューデントサロン
4	ホットストーンセラピー	19	スチューデントサロン
5	ホットストーンセラピー	20	スチューデントサロン
6	ホットストーンセラピー	21	スチューデントサロン
7	ホットストーンセラピー	22	スチューデントサロン
8	ホットストーンセラピー	23	スチューデントサロン
9	ホットストーンセラピー	24	スチューデントサロン
10	ホットストーンセラピー	25	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策
11	ホットストーンセラピー	26	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策
12	ロミロミ	27	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策
13	ロミロミ	28	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策
14	スチューデントサロン	29	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策
15	スチューデントサロン	30	Ajesthe上級エステティシャン実技試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーベーシック	学年	2年
担当教員	扇澤 めぐみ・荒井 貴代・武 知奈津・松野 華織	学科	トータルビューティー科	時間数	60コマ

授業内容	真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する
授業目標	一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。
成績評価方法	試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ネイル	16	アロマ
2	ネイル	17	アロマ
3	ネイル	18	アロマ
4	ネイル	19	アロマ
5	ネイル	20	アロマ
6	ネイル	21	アロマ
7	ネイル	22	アロマ
8	ブライダル撮影用メイク	23	アロマ
9	ブライダル撮影用メイク	24	ヨガ
10	ブライダル撮影用メイク	25	ヨガ
11	ブライダル撮影用メイク	26	ヨガ
12	ブライダル撮影用メイク	27	ヨガ
13	ブライダル撮影用メイク	28	ヨガ
14	ブライダル撮影用メイク	29	ヨガ
15	ブライダル撮影用メイク	30	ヨガ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	フェイシャル総合	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江	学科	トータルビューティー科	時間数	120コマ

授業内容	<p>真のエステティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエステティシャンを育成する</p>
授業目標	<p>一般社団法人日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエステティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エステティシャンの資格取得を目指す。</p>
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>
授業の方法	<p>プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	電気機器学	16	肌タイプ別オリジナルマッサージ
2	カウンセリング学	17	肌タイプ別オリジナルマッサージ
3	カウンセリング学	18	肌タイプ別オリジナルマッサージ
4	スキンチェック	19	肌タイプ別オリジナルマッサージ
5	肌状態トラブル別対応	20	肌タイプ別オリジナルマッサージ
6	アフターカウンセリング	21	肌タイプ別オリジナルマッサージ
7	化粧品成分	22	肌タイプ別オリジナルマッサージ
8	機器の手入れ	23	上級試験対策
9	スキンチェック	24	上級試験対策
10	バター	25	上級試験対策
11	ディスインクラステーション	26	上級試験対策
12	エレクトロクレンジング	27	上級試験対策
13	イオン導入	28	上級試験対策
14	超音波	29	上級試験対策
15	高周波	30	上級試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ボディ総合	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江・金濱 まりこ	学科	トータルビューティー科	時間数	100コマ

授業内容	<p>真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する</p>
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力、を習得する。 Ajesthe上級エスティシャンの資格取得を目指す。</p>
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>
授業の方法	<p>プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	電気機器学	16	トラブル別オリジナルマッサージ
2	低周波理論	17	トラブル別オリジナルマッサージ
3	バイプレーター理論	18	トラブル別オリジナルマッサージ
4	サクショ理論	19	トラブル別オリジナルマッサージ
5	ボディエステティックとは	20	トラブル別オリジナルマッサージ
6	ボディエステティックの流れ	21	トラブル別オリジナルマッサージ
7	事前準備・カウンセリング	22	トラブル別オリジナルマッサージ
8	ビフォーカウンセリング	23	上級試験対策
9	食事指導	24	上級試験対策
10	運動法	25	上級試験対策
11	ボディ観察・採寸	26	上級試験対策
12	ボディ仕上げ	27	上級試験対策
13	骨格系	28	上級試験対策
14	筋肉系	29	上級試験対策
15	リンパ系	30	上級試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	高度エステティック技術	学年	2年
担当教員	入江 幹・岡田 紀江・金濱 まりこ・武 知奈子	学科	トータルビューティー科	時間数	95コマ

授業内容	<p>真のエスティシャンとして成長するために必要な知識と技術、 ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、生涯にわたって成長の機会を提供する。 常に清新で気高い理念とビジョンを抱き社会へ美と健康を提供し人の幸福に貢献するエスティシャンを育成する</p>
授業目標	<p>一般社団法人 日本エステティック協会が定めるカリキュラム、 施設、設備に基づきエスティシャンに必要な正しい知識、技術、人間性の教育を目的とし、高水準の技術力を習得する。 Ajesthe上級エスティシャンの資格取得を目指す。</p>
成績評価方法	<p>試験は70点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 69点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>プリント、教科書、資料を使用した講義・相モデルによる実習・外部クライアント実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	エステティック理論	16	上級実技試験対策
2	エステティック理論	17	上級実技試験対策
3	エステティック理論	18	上級実技試験対策
4	エステティック理論	19	上級実技試験対策
5	エステティック理論	20	上級実技試験対策
6	エステティック理論	21	上級実技試験対策
7	エステティック理論	22	上級実技試験対策
8	エステティック理論	23	上級実技試験対策
9	エステティック理論	24	上級実技試験対策
10	エステティック理論	25	上級実技試験対策
11	エステティック理論	26	上級実技試験対策
12	エステティック理論	27	上級実技試験対策
13	上級実技試験対策	28	上級実技試験対策
14	上級実技試験対策	29	上級実技試験対策
15	上級実技試験対策	30	上級実技試験対策

2020年度 シラバス

2021年度 シラバス	2021年度	科目名	ビューティ－リレーション	学年	2年
担当教員	入江 幹	学科	トータルビューティ－科	時間数	180コマ

授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法	講義及び実習 担当教員は、エステサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	始業式	16	校内コンテスト
2	オリエンテーション	17	前期実技試験
3	オリエンテーション	18	前期筆記試験
4	オリエンテーション	19	Ajeste上級筆記試験
5	オリエンテーション	20	前夜祭
6	オリエンテーション	21	学園祭
7	オリエンテーション	22	校外実習
8	オリエンテーション	23	校外実習
9	オリエンテーション	24	校外実習
10	オリエンテーション	25	後期実技試験
11	健康診断	26	後期筆記試験
12	校外実習	27	Ajeste上級実技試験
13	校外実習	28	大掃除
14	エステティックセンター試験	29	授業アンケート
15	校外実習	30	卒業式

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (試験対策)	学年	2年
担当教員	黒沢 亜矢・荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	43コマ
授業内容	<p>「美」の原点である「命」への意識。 色彩の成り立ちや髪等立体の造形美への知識を育みながら、多角的観点から「美」と向き合う。</p>				
授業目標	<p>ヘアという3次元のものを、美しく見せるテクニック、技術を習得し、基本的なアレンジのパターンを学ぶ 「救命技能認定証」を取得 1つの色に含まれる色を見極める力を付ける</p>				
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点(成績点)</p>				
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義・デモンストレーション 担当教員は、美容室・メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>				

授業計画及び学習の内容			
1	ヘアアレンジ	16	撮影
2	ヘアアレンジ	17	撮影
3	ヘアアレンジ	18	撮影
4	ヘアアレンジ	19	撮影
5	ヘアアレンジ	20	撮影
6	ヘアアレンジ	21	撮影
7	ヘアアレンジ	22	撮影
8	ヘアアレンジ	23	試験対策
9	ヘアアレンジ	24	試験対策
10	仕込み	25	試験対策
11	仕込み	26	試験対策
12	仕込み	27	試験対策
13	仕込み	28	試験対策
14	仕込み	29	試験対策
15	仕込み	30	救命救急

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス (マナー・サロン)	学年	2年
担当教員	森田 光子・江頭 亮子・荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	79コマ

授業内容	現場の最前線で役立つスキルを身に付け、社会人として社会に貢献できる人材の育成を目指す
授業目標	スチューデントサロンなどで外部からのお客様に接することで、実際の社会での仕事に活かす技術を磨き、接客業としてのスキルを身に付ける 化粧品検定に合格し、スキルアップを計る
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	スチューデントサロン	16	肌質に合わせたパックの選び方
2	スチューデントサロン	17	間違えがちな美容知識について
3	スチューデントサロン	18	メイクアップの基本テクニック
4	スチューデントサロン	19	肌悩みに応じた、化粧品の使い方
5	スチューデントサロン	20	皮膚の構造
6	スチューデントサロン	21	皮膚のしくみと働き
7	スチューデントサロン	22	皮膚の機能
8	スチューデントサロン	23	肌タイプと見分け方
9	スチューデントサロン	24	肌悩みの原因とお手入れ
10	スチューデントサロン	25	肌を劣化させる様々な要因
11	スチューデントサロン	26	紫外線が肌に与える影響
12	スチューデントサロン	27	効果的なマッサージの必要性と方法
13	スチューデントサロン	28	美しい肌を作る生活習慣
14	フェイシャルクレンジング	29	検定試験対策
15	フェイシャルマッサージ	30	日本化粧品検定

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス (卒業制作)	学年	2年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	51コマ

授業内容	2年間学んだ、メイク技術の総仕上げ
授業目標	自分の思い描いた通りのメイクを作りあげる 様々なジャンルのメイクを自分のものとして表現する
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	相モデルでの実習・撮影 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

No.	授業内容	時間	学習内容
1	テーマ決め	16	作品練習
2	テーマ決め	17	作品練習
3	作品練習	18	作品練習
4	作品練習	19	作品練習
5	作品練習	20	作品練習
6	作品練習	21	撮影
7	作品練習	22	撮影
8	作品練習	23	撮影
9	作品練習	24	撮影
10	作品練習	25	撮影
11	作品練習	26	撮影
12	作品練習	27	撮影
13	作品練習	28	撮影
14	作品練習	29	撮影
15	作品練習	30	撮影

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーベーシック	学年	2年
担当教員	武 知奈津・井達 登美子・荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	90コマ

授業内容	美しさの基本となる、様々な分野の基礎を学び、美容家としての意識を養うと共に、技術の向上、チャレンジ精神、ホスピタリティマインドの意識の向上、育成を目指す
授業目標	普段着用の浴衣を自身で着れる「着付けテクニック」を身に付け、「小紋」や「袴」についての知識も身に付ける 基本的なアロマの種類、用途を学び、心身ともに日常でのゆとりを生み出すアイテムとして、活用できるようになる ヨガの精神、動きを学び健全な身体の維持に役立てる 日頃の成果を遺憾無く発揮し、1つのテーマに対する様々な考え方を学ぶ
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、着付・エステサロン・ヨガ等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	着付	16	アロマ
2	着付	17	アロマ
3	着付	18	アロマ
4	着付	19	アロマ
5	着付	20	アロマ
6	着付	21	アロマ
7	着付	22	ヨガ
8	コンテスト仕込み	23	ヨガ
9	コンテスト仕込み	24	ヨガ
10	コンテスト仕込み	25	ヨガ
11	コンテスト仕込み	26	ヨガ
12	コンテスト仕込み	27	ヨガ
13	コンテスト仕込み	28	ヨガ
14	コンテスト仕込み	29	ヨガ
15	コンテスト	30	ヨガ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	メイクテクニカル	学年	2年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	66コマ
授業内容	ロールプレイング等を通じて上級レベルのメイク技術を身につける。				
授業目標	美容部員として実際に店頭に立った時の、接客を身につける。 一般的なメイクとは違うメイクを学んだり、肌質や、用途別の化粧品に実際に触れることで、「化粧品」を知る。 仕事や心構えについて学び、知識を蓄える。				
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・校外学習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。				

授業計画及び学習の内容			
1	デモンストレーション	16	講義
2	デモンストレーション	17	講義
3	実習	18	講義
4	実習	19	実習
5	実習	20	実習
6	プレゼンテーション	21	実習
7	プレゼンテーション	22	実習
8	プレゼンテーション	23	実習
9	市場調査	24	講義
10	市場調査	25	講義
11	市場調査	26	講義
12	市場調査	27	講義
13	発表	28	講義
14	発表	29	講義
15	発表	30	講義

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	メイクアドバンス (撮影)	学年	2年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティー科	時間数	126コマ

授業内容	撮影用メイクを学ぶ 上級レベルのメイク技術を身につける
授業目標	写真映えするメイク技術の習得と、テーマに沿った表現力を身につける 基本的な修正テクニックを修得し、お客様の好みに沿ったメイク、お悩みに答えるメイクが作れる技術を身に付ける
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・写真撮影 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容

1	講義	16	撮影
2	実習	17	撮影
3	実習	18	撮影
4	講義	19	撮影
5	実習	20	デモンストレーション
6	実習	21	デモンストレーション
7	実習	22	デモンストレーション
8	実習	23	仕込み
9	講義	24	仕込み
10	実習	25	仕込み
11	実習	26	仕込み
12	試験	27	仕込み
13	試験	28	仕込み
14	デモンストレーション	29	仕込み
15	デモンストレーション	30	撮影

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	メイクアドバンス (特殊)	学年	2年
担当教員	阿部 健二	学科	トータルビューティー科	時間数	66コマ

授業内容	一般的なメイクとは異なる化粧の世界を見聞し、メイクの幅を広げ、メイクのプロとしての素養を育てる
授業目標	一般的なメイク以外の化粧、舞台メイク、歌舞伎化粧、傷、ケロイド等のメイク技術を学ぶと同時に、それぞれに使用する化粧品の種類、用途への知識を学習し、幅広い技術と化粧品知識を身に付ける。
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション実習 担当教員は、メイク企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	デモンストレーション	16	撮影
2	実習	17	実習
3	デモンストレーション	18	撮影
4	実習	19	実習
5	デモンストレーション	20	撮影
6	実習	21	実習
7	デモンストレーション	22	撮影
8	実習	23	実習
9	デモンストレーション	24	撮影
10	実習	25	実習
11	デモンストレーション	26	撮影
12	実習	27	実習
13	デモンストレーション	28	撮影
14	実習	29	実習
15	デモンストレーション	30	撮影

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	メイクアドバンス (ブライダル)	学年	2年
担当教員	勝沼 里巴	学科	トータルビューティー科	時間数	69コマ

授業内容	「結婚式」という特別な儀式での、ヘア・メイクに求められることを学ぶと同時に、チームワークや協調性気配りなど、働く人としての意識を育てる。
授業目標	「ブライダル」という、特別な場でのヘア・メイク技術の習得 ボリュームのあるドレスとのトータルバランスを考えたヘア・メイクの構築 お客様との接し方を学ぶ
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・デモンストレーション・式場見学 担当教員は、ブライダル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	デモンストレーション	16	撮影
2	ヘアアレンジ	17	実習
3	デモンストレーション	18	撮影
4	ヘアアレンジ	19	実習
5	デモンストレーション	20	撮影
6	ヘアアレンジ	21	実習
7	講義	22	撮影
8	講義	23	実習
9	講義	24	撮影
10	実習	25	実習
11	実習	26	撮影
12	実習	27	実習
13	式場見学	28	撮影
14	式場見学	29	実習
15	撮影	30	撮影

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ファッションアドバンス	学年	2年
担当教員	磯陪 美香・杉浦 咲恵	学科	トータルビューティー科	時間数	61コマ

授業内容	メイクを学ぶ上でも、ファッション感覚、またその歴史を学ぶことは必要不可欠なものであり、トータルバランス感覚を磨きあらゆる女性像に対応できる、グローバルな人間形成を目指す。
授業目標	トータルバランスの取れたメイクを作る為のファッション感覚を養う あらゆる女性像に対応できる、美的感覚を磨く
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義・プレゼンテーション・市場調査 担当教員は、アパレル企業等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ファッションの傾向を学ぶ	16	練習問題
2	市場調査	17	練習問題
3	プレゼンテーション	18	練習問題
4	中世ヨーロッパ16世紀、17世紀	19	DVD鑑賞
5	中世ヨーロッパ18世紀	20	小テスト
6	練習問題	21	縄文時代
7	小テスト	22	古墳時代
8	近代史	23	古代文明
9	近代史	24	中世史近世史
10	現代史	25	近世史
11	現代史	26	近世史
12	現代史	27	近世史
13	現代史	28	現代史
14	現代史	29	小テスト
15	練習問題	30	デッサン

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティ－リレーション	学年	2年
担当教員	荒井 貴代	学科	トータルビューティ－科	時間数	185コマ
授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。				
授業目標	学校や社会のルールへの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。				
成績評価方法	・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）				
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習				

授業計画及び学習の内容			
1	始業式	16	前期実技試験
2	オリエンテーション	17	前期筆記試験
3	オリエンテーション	18	前夜祭
4	健康診断	19	学園祭
5	校外実習	20	校外学習
6	校外実習	21	校外学習
7	校外実習	22	校外学習
8	校外実習	23	校外学習
9	日本化粧品検定	24	校外学習
10	パーソナルカラー検定	25	校外実習
11	校外学習	26	後期実技試験
12	校外学習	27	後期筆記試験
13	校外学習	28	大掃除
14	校外学習	29	授業アンケート
15	校外学習	30	卒業式

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーサイエンス (試験対策)	学年	2年
担当教員	高田 雅恵・小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	106コマ

授業内容	エアブラシの使用方法、テクニックを学びコンテストに特化したアート技術を取得、 JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定2級取得を目指す。
授業目標	コンテスト対策・エアブラシ技術の取得・ネイリスト検定2級取得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ネイルケア	16	JNAテクニカルシステム
2	ファイリング	17	JNAテクニカルシステム
3	クリーンナップ	18	JNAテクニカルシステム
4	カラーリング	19	ネイリスト技能検定試験対策
5	JNAテクニカルシステム	20	ネイリスト技能検定試験対策
6	JNAテクニカルシステム	21	ネイリスト技能検定試験対策
7	JNAテクニカルシステム	22	ネイリスト技能検定試験対策
8	JNAテクニカルシステム	23	ネイリスト技能検定試験対策
9	JNAテクニカルシステム	24	ネイリスト技能検定試験対策
10	JNAテクニカルシステム	25	ネイリスト技能検定試験対策
11	JNAテクニカルシステム	26	ネイリスト技能検定試験対策
12	JNAテクニカルシステム	27	ネイリスト技能検定試験対策
13	JNAテクニカルシステム	28	ネイリスト技能検定試験対策
14	JNAテクニカルシステム	29	ネイリスト技能検定試験対策
15	JNAテクニカルシステム	30	ネイリスト技能検定試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティービジネス (サロン・マナー)	学年	2年
担当教員	小川 いずみ	学科	トータルビューティー科	時間数	111コマ

授業内容	<p>実際のサロンを模した形式での施術、接客、福祉施設等の利用者を対象とした施術、接客をし、実際のネイルサロンで働く事を想定し即戦力となる技術を学ぶ。 また、福祉施設等でのボランティアを通じ、社会貢献をし、人と関わることで得られる人間関係により、心をより豊かにする。</p>
授業目標	<p>実践に基づく技術と接客を学ぶ。社会貢献の目的を理解し意義を学ぶ。</p>
成績評価方法	<p>・出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）</p>
授業の方法 及び 講師紹介	<p>講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。</p>

授業計画及び学習の内容			
1	接客の方法	16	クライアント実習
2	接客の方法	17	クライアント実習
3	接客の方法	18	クライアント実習
4	クライアント実習	19	クライアント実習
5	クライアント実習	20	クライアント実習
6	クライアント実習	21	クライアント実習
7	クライアント実習	22	クライアント実習
8	クライアント実習	23	クライアント実習
9	クライアント実習	24	クライアント実習
10	クライアント実習	25	クライアント実習
11	クライアント実習	26	クライアント実習
12	クライアント実習	27	クライアント実習
13	クライアント実習	28	クライアント実習
14	クライアント実習	29	クライアント実習
15	クライアント実習	30	クライアント実習

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーベーシック (アロマ・ヨガ・試験対策)	学年	2年
担当教員	武 知奈津・松野 華織・小川 いずみ 佐藤 彩・高橋 絵美・柳澤 真理恵	学科	トータルビューティー科	時間数	73コマ

授業内容	アロマ・ヨガ・フットネイル・検定対策
授業目標	フットネイル全般の技術の取得、各検定試験の試験対策
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実習 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	フットネイルケア	16	アロマ
2	フットネイルケア	17	アロマ
3	フットネイルケア	18	アロマ
4	ジェルネイル技能検定試験対策	19	アロマ
5	ジェルネイル技能検定試験対策	20	アロマ
6	ジェルネイル技能検定試験対策	21	アロマ
7	ジェルネイル技能検定試験対策	22	ヨガ
8	ジェルネイル技能検定試験対策	23	ヨガ
9	ジェルネイル技能検定試験対策	24	ヨガ
10	ネイリスト技能検定試験対策	25	ヨガ
11	ネイリスト技能検定試験対策	26	ヨガ
12	ネイリスト技能検定試験対策	27	ヨガ
13	ネイリスト技能検定試験対策	28	ヨガ
14	ネイリスト技能検定試験対策	29	ヨガ
15	ネイリスト技能検定試験対策	30	ヨガ

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ネイルテクニカル	学年	2年
担当教員	佐藤 彩・高橋 絵美・柳澤 真理恵	学科	トータルビューティー科	時間数	142コマ

授業内容	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～に沿ってジェルネイル基礎理論・ジェルネイル技術を学びジェルネイル技能検定中級、上級取得を目指す。
授業目標	ジェルネイル技能検定中級、上級取得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	ジェルネイル基礎理論	16	ジェルアート技術
2	ジェルネイルイクステンション技術	17	ジェルアート技術
3	ジェルオフ技術	18	ジェルネイル技能検定試験対策
4	ジェルアート技術	19	ジェルネイル技能検定試験対策
5	ジェルアート技術	20	ジェルネイル技能検定試験対策
6	ジェルアート技術	21	ジェルネイル技能検定試験対策
7	ジェルクリアスカルプチュア	22	ジェルネイル技能検定試験対策
8	ジェルクリアスカルプチュア	23	ジェルネイル技能検定試験対策
9	ジェルチップオーバーレイ	24	ジェルネイル技能検定試験対策
10	ジェルチップオーバーレイ	25	ジェルネイル技能検定試験対策
11	ジェルチップオーバーレイ	26	ジェルネイル技能検定試験対策
12	ジェルチップオーバーレイ	27	ジェルネイル技能検定試験対策
13	ジェルアート技術	28	ジェルネイル技能検定試験対策
14	ジェルアート技術	29	ジェルネイル技能検定試験対策
15	ジェルアート技術	30	ジェルネイル技能検定試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ネイルアドバンス	学年	2年
担当教員	小川 いずみ・佐藤 彩・森 由香里	学科	トータルビューティー科	時間数	244コマ

授業内容	JNAテクニカルシステムに沿ってネイル基礎理論・ネイル技術を学びネイリスト技能検定1級取得を目指す。
授業目標	ネイリスト技能検定1級取得
成績評価方法	試験は80点以上かつ指定の出席率を上回った場合単位を認める。 79点以下は再試験を受けなければならない。合格点は本試験と同じ。
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び実践に基づく形式での実習。 担当教員は、ネイルサロン等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。

授業計画及び学習の内容			
1	スカルプチュアネイル	16	JNAテクニカルシステム
2	スカルプチュアネイル	17	JNAテクニカルシステム
3	スカルプチュアネイル	18	JNAテクニカルシステム
4	スカルプチュアネイル	19	JNAテクニカルシステム
5	チップオーバーレイ	20	ネイリスト技能検定試験対策
6	チップオーバーレイ	21	ネイリスト技能検定試験対策
7	チップオーバーレイ	22	ネイリスト技能検定試験対策
8	チップオーバーレイ	23	ネイリスト技能検定試験対策
9	チップオーバーレイ	24	ネイリスト技能検定試験対策
10	JNAテクニカルシステム	25	ネイリスト技能検定試験対策
11	JNAテクニカルシステム	26	ネイリスト技能検定試験対策
12	JNAテクニカルシステム	27	ネイリスト技能検定試験対策
13	JNAテクニカルシステム	28	ネイリスト技能検定試験対策
14	JNAテクニカルシステム	29	ネイリスト技能検定試験対策
15	JNAテクニカルシステム	30	ネイリスト技能検定試験対策

2021年度 シラバス

開講年度	2021年度	科目名	ビューティーリレーション	学年	2年
担当教員	入江 幹	学科	トータルビューティー科	時間数	180コマ

授業内容	個々の能力や才能に応じた知識と技術、ホスピタリティマインドおよび法令遵守の精神を育み、それを通じて人格を形成し、社会に貢献できる人材育成をすることで生涯にわたって成長の機会を提供する。
授業目標	学校や社会のルールの必要性を考え、適時対応できる能力と身につける。 職場から求められる美容のプロとなる為の経験と教養を養う。 自主性や協調性を身につけ社会に適応する能力を養う。
成績評価方法	・ 出欠80%・課題に対する習熟度、提出物10%・授業態度10%にて評価を行う。 評価例：出欠70%×80%+習熟度、提出物70点×10%+授業態度100点×10% =56点+7点+10点 =73点（成績点）
授業の方法 及び 講師紹介	講義及び校外実習

授業計画及び学習の内容			
1	始業式	16	前夜祭
2	オリエンテーション	17	学園祭
3	オリエンテーション	18	ネイリスト技能検定
4	オリエンテーション	19	校外実習
5	健康診断	20	校外実習
6	校外実習	21	校外実習
7	校外実習	22	校外実習
8	ジェルネイル技能検定	23	校外実習
9	校外学習	24	後期実技試験
10	衛生管理士	25	後期筆記試験
11	前期実技試験	26	学生アンケート
12	前期筆記試験	27	大掃除
13	校内コンテスト	28	ジェルネイル技能検定
14	セミナー	29	校外学習
15	ネイリスト技能検定	30	卒業式